



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月6日

上場会社名 株式会社 ニックトー

上場取引所 東

コード番号 5367 URL <http://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 濱田 悦男

TEL 072-238-3641

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,562	1.8	466	41.7	477	38.6	319	36.9
29年3月期第2四半期	4,481	5.5	329	1.0	344	1.3	233	8.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	26.71	
29年3月期第2四半期	19.51	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	13,951	10,304	73.9	863.20
29年3月期	13,644	9,855	72.2	825.61

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 10,304百万円 29年3月期 9,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		8.00	14.00
30年3月期		8.00			
30年3月期(予想)				8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	5.4	780	16.8	800	13.7	540	13.0	45.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	12,135,695 株	29年3月期	12,135,695 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	199,145 株	29年3月期	198,946 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	11,936,566 株	29年3月期2Q	11,936,845 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(貸借対照表関係)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、一時期陰りを見せた海外訪日客いわゆるインバウンド需要も持ち直し、自動車部品及びスマートフォン需要の拡大等好調な企業業績に支えられ雇用状況や設備投資額の改善が続き、トランプ政権の政策運営や北朝鮮の政治情勢の不透明感など下振れリスクはあるものの、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社は特にセラミックス事業が主力のジルコニアボールを中心に好調を維持し、エンジニアリング事業の出遅れをカバーできたことで、当第2四半期累計期間といたしましては僅かではございますが、過去最高の受注高、売上高を記録することができました。

この結果、受注高は4,854,540千円、売上高も4,562,298千円と前年同期比それぞれ7.3%、1.8%のプラスとなりました。

事業別では、セラミックス事業は前述いたしましたジルコニアボールの属する耐摩耗セラミックスが引き続き好調を維持しており、これに加え前年いまひとつだった耐熱セラミックスがローラーチューブを中心として順調に推移したことで、前年同期比8.2%増収の3,605,240千円となりました。市場別構成比率では、電子部品向け56.9%、化学・窯業向け15.4%、機械・ベアリング向け9.1%となり、電子部品向け以外の分野も増加いたしました。

エンジニアリング事業につきましては、今上期は特に大口物件がなく延期等も重なり前年同期比16.7%減収の957,057千円となりました。市場別構成比率では電子部品向けが28.5%、環境・エネルギー向け24.8%、自動車・重機向け16.4%、半導体向け16.4%となり、前年同期とほぼ同じ傾向となっております。

損益につきましては、セラミックス製品の売上が伸びたことにより、工場の稼働率が全部門にわたって上がったことで、営業利益は前年同期比41.7%増益の465,509千円、経常利益も38.6%増益の476,730千円と大幅に伸びました。税引前四半期純利益も、当第2四半期も特別損失が少なかったことから38.7%増益の475,383千円となったことで、四半期純利益も36.9%増益の318,795千円となりました。

当第2四半期の配当につきましては、予定通り1株について8円とさせていただきます。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債の状況

資産は、流動資産で現預金が減少しましたが売掛債権の増加により前期末比1.1%増加し、固定資産では有形固定資産が減少しましたが投資有価証券の増加により前期末比3.9%増加となりました。その結果、資産合計では前期末比2.2%増加の13,950,956千円となりました。

負債は、流動負債で買掛債務の減少により前期末比6.9%の減少となり、固定負債で繰延税金負債の増加により前期末比15.6%増加しました。その結果、負債合計では前期末比3.7%減少の3,647,304千円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により前期末比4.6%増加の10,303,652千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物は2,666,758千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、377,164千円の収入となりました。これは主に税引前四半期純利益475,383千円、減価償却費260,767千円の増加要因と、売上債権の増加175,138千円、法人税等の支払額123,244千円の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、488,566千円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得482,035千円、無形固定資産の取得6,238千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、93,883千円の支出となりました。これは主に配当金の支払額95,442千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成29年5月8日付「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました内容から変更はありません。

(注) 本資料に記載している業績予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,892,044	2,686,758
受取手形及び売掛金	3,078,731	3,253,870
有価証券	100,519	100,236
商品及び製品	525,955	540,225
仕掛品	1,004,149	1,084,430
原材料及び貯蔵品	285,326	305,987
その他	118,241	120,293
貸倒引当金	△3,300	△4,200
流動資産合計	8,001,668	8,087,602
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,410,379	1,384,924
機械及び装置(純額)	1,147,342	1,081,172
その他(純額)	829,631	821,676
有形固定資産合計	3,387,352	3,287,774
無形固定資産	57,838	59,436
投資その他の資産		
投資有価証券	2,092,641	2,418,312
その他	104,860	97,830
投資その他の資産合計	2,197,501	2,516,143
固定資産合計	5,642,693	5,863,354
資産合計	13,644,361	13,950,956
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	354,444	318,235
買掛金	1,184,429	1,333,589
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	156,508	150,680
営業外電子記録債務	253,424	82,985
未払金	429,574	269,676
賞与引当金	223,000	237,000
役員賞与引当金	27,233	10,452
その他	229,718	230,792
流動負債合計	3,258,332	3,033,411
固定負債		
長期借入金	100,048	107,524
役員退職慰労引当金	149,118	129,634
資産除去債務	40,018	40,360
繰延税金負債	164,977	268,823
その他	76,713	67,550
固定負債合計	530,875	613,892
負債合計	3,789,207	3,647,304

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438
利益剰余金	6,919,676	7,142,977
自己株式	△86,526	△86,615
株主資本合計	9,379,328	9,602,540
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	475,825	701,112
評価・換算差額等合計	475,825	701,112
純資産合計	9,855,153	10,303,652
負債純資産合計	13,644,361	13,950,956

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,481,272	4,562,298
売上原価	3,515,053	3,436,341
売上総利益	966,218	1,125,956
販売費及び一般管理費	637,683	660,446
営業利益	328,535	465,509
営業外収益		
受取利息	3,811	2,623
受取配当金	19,947	24,358
その他	10,270	9,850
営業外収益合計	34,029	36,832
営業外費用		
支払利息	4,123	2,956
たな卸資産廃棄損	5,740	-
コミットメントフィー	2,642	2,637
お別れの会関連費用	-	19,348
その他	6,041	668
営業外費用合計	18,548	25,611
経常利益	344,016	476,730
特別損失		
固定資産廃棄損	1,154	1,347
特別損失合計	1,154	1,347
税引前四半期純利益	342,861	475,383
法人税、住民税及び事業税	118,000	157,000
法人税等調整額	△7,971	△411
法人税等合計	110,028	156,588
四半期純利益	232,832	318,795

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	342,861	475,383
減価償却費	230,146	260,767
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,300	900
受取利息及び受取配当金	△23,759	△26,981
支払利息	4,123	2,956
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,470	4,611
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,380	△19,483
固定資産廃棄損	1,154	1,347
売上債権の増減額(△は増加)	△175,638	△175,138
たな卸資産の増減額(△は増加)	175,990	△115,212
その他の資産の増減額(△は増加)	△3,591	4,684
仕入債務の増減額(△は減少)	△78,511	112,950
未払消費税等の増減額(△は減少)	40,623	△16,878
その他の負債の増減額(△は減少)	81,701	△33,670
小計	623,490	476,234
利息及び配当金の受取額	27,865	27,264
利息の支払額	△4,111	△3,090
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△129,725	△123,244
営業活動によるキャッシュ・フロー	517,519	377,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	200,000	-
有形固定資産の取得による支出	△181,304	△482,035
無形固定資産の取得による支出	△608	△6,238
投資有価証券の取得による支出	△301,033	△957
投資有価証券の売却による収入	200,006	-
貸付金の回収による収入	307	87
投資その他の資産の増減額(△は増加)	19,485	578
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,146	△488,566
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△117,016	△98,352
自己株式の取得による支出	△23	△88
配当金の支払額	△83,507	△95,442
財務活動によるキャッシュ・フロー	△546	△93,883
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	453,825	△205,285
現金及び現金同等物の期首残高	1,820,764	2,872,044
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,274,590	2,666,758

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、2014年以前の開発初期段階に納入いたしましたSNT-07ボールの一部に発生している品質上の不具合について客先と補償又は費用負担に関する協議をいたしております。現時点で金額を合理的に見積もることが困難であるため製品回収損失引当金については計上いたしておりません。なお、SNT-07ボールについては現在も継続的に納入しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,332,684	1,148,588	4,481,272	4,481,272
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,332,684	1,148,588	4,481,272	4,481,272
セグメント利益	309,997	18,537	328,535	328,535

当第2四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,605,240	957,057	4,562,298	4,562,298
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,605,240	957,057	4,562,298	4,562,298
セグメント利益又は損失(△)	492,895	△27,385	465,509	465,509